新聞 【朝夕刊月ぎめ定価3925円（本体価格3738円＋消費税187円）】1部売り朝刊130円・夕刊50円 （第3種郵便物認可）

日大理事長に500万円超

都内の受注業者から

文科省が確認へ

学校法人「日本大学」（本部・東京都千代田区）の田中英寿理事長(66)が、昨年までの約6年間に、同大の工事を受注している建設会社から計5百数十万円を受け取っていたことが大学関係者らへの取材でわかった。理事長は工事発注などに影響力があり、受注に絡んだ資金提供だった可能性がある。同大は国から多額の助成金を受け取っており、文部科学省は大学側から事実関係を確認する方針。

日大関係者らによると、田中理事長は、常務理事だった2007年頃から、同大発注の工事を請け負う東京都内の建設会社から資金提供を受けていた。金額は1回あたり10万円前後だが、昨年まで50回以上に及び、受領額は総額で5百数十万円に上った。

この建設会社は、大学施設の解体、内装、修繕や学生寮の新築などの工事を直接、もしくはゼネコンなどの下請けで受注。受注件数は12年4月までの5年間で約150件、受注総額は二十数億円に上っている。

田中理事長は日大出身で卒業後も同大に勤務。その後、常務理事を経て、08年に理事長となり、現在2期目。相撲部監督も務めている。

同大の工事の発注は、管財・営繕部門が、入札か随意契約で業者を決定。理事長は業者を直接選ぶ権限はないが、工事発注を含めた学校法人の業務全体を管理する立場にある。複数の大学関係者は「理事長は、人事などを掌握しており、業者選定に影響を与えることは可能だ」と証言している。

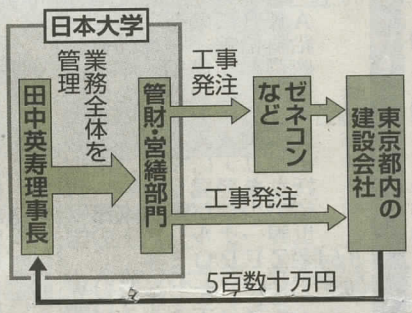
同大は、人件費や施設整備などに使われる私学助成金を毎年100億円以上受け取っており、私立大の中では最大規模。日本私立大学団体連合会は、経営倫理綱領の中で理事長職に対し、「倫理性・社会性の高い経営」に徹するよう求めている。文科省は「学校法人の幹部が、受注業者から個人的に利益を得ることは問題」としており、事実関係の確認を進める。

田中理事長は取材に対し、代理人の弁護士を通じて「（この建設会社との）資金のやり取りは一切ない」と回答。建設会社も代理人の弁護士を通じ、「資金提供はしていない」としている。

文科省学校法人運営調査委員会の委員を務めた公認会計士・斎藤力夫氏の話

「私立大は国から多額の助成金を受けているため、民間法人とはいえ、国公立大と同レベルの社会的責任がある。理事長が業者からリベートを疑われる資金を受け取ることは、コンプライアンス（法令順守）上、問題がある。資金提供は長期間にわたったとされるが、内部監査機能も十分に働いていないのではないか」

日本大学理事長を巡る資金授受の構図



ハンドパワー治療 前社長ら3人逮捕

脱税容疑

「ハンドパワーで病気を治せる」と称して有料セミナーを開催していた運営会社「アースハート」（福岡県篠栗町）の脱税事件で、福岡地検特別刑事部は31日、前社長野中邦子容疑者(65)（同）ら3人を法人税法違反などの容疑で逮捕した。発表では、3人は2008年2月期に約10億円の同社の所得を隠し、約3億円の法人税を脱税した疑い。また、

かった」

「私が伝える力を持っていなかった結果」――柔道全日本女子の園田隆二監督(39)が31日、東京都文京区の講道館で記者会見し、辞意を表明した。近く全日本柔道連盟（全柔連）に進退伺を提出する。問題発覚後、初めて公の場に姿を現した園田監

臨む園田監督（31日午後、区で）＝米山要撮影

不信感を強めている。

全柔連は会見の中で、「暴力は5件。加えてコーチが1件。2010年8月から12年2月」と説明していた。

これについて全柔連の村上清事務局長は31日、「5件」は、昨年9月下旬に直接、もしくはゼネコンなど

ものとして発表したという。告発文で挙げられている暴行に関しては「記載されている15人は、氏名が伏せられている。選手からの聞き取りができないため、確認もできない」と話した。園田監督は告発文の内容もほぼ認めている。